





# 審査結果報告書

2022年 2月 2日

主査	氏名	東條美奈子	
副査	氏名	福田倫也	
副査	氏名	渡邊裕之	
副査	氏名	上 末 通人	

1. 申請者氏名 : DM19027 山本 尚平

2. 論文テーマ :

Impact of Physical Activity on Dialysis and Nondialysis Days and  
Clinical Outcomes Among Patients on Hemodialysis

(血液透析患者における透析日・非透析日の身体活動量と心血管イベントおよび総死亡リスクとの関連性)

3. 論文審査結果 :

透析患者は透析日と非透析日とは、全く異なる活動パターンで過ごしているが、これらを区別して評価した研究がないため、透析患者の身体活動量を包括的に評価・管理するためのエビデンス構築が必要である。この課題を解決するために、申請者は、血液透析患者の身体活動量を透析日と非透析日で区別して評価し、それらと心血管イベント発生率ならびに総死亡率との関連を検討した。本研究の結果により、透析患者の長期予後改善には透析日と非透析日の両方において身体活動量を増加させ、身体不活動を低減する必要があることが明らかとなった。

研究は論理的に組み立てられており、研究手法に問題は認められず、研究領域に関する知識は十分であり、研究結果についても深く考察されている。学位論文の一部はすでに英語論文化され、Journal of Renal Nutrition に発表されている。

学位審査におけるプレゼンテーションは、適切に要点がまとめられており、審査担当者が理解できるよう、わかりやすく説明する工夫がなされていた。研究の限界や今後の発展に関する考えについても的確に述べられており、主査・副査からの質疑についても詳細かつ適切に応え、本研究領域における造詣の深さを感じさせた。

上記の結果より、主査・副査の4名の意見は全員一致し、本申請論文が博士課程の学位論文にふさわしいと判断した。